



G7 栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合推進協議会
会長 栃木県知事

福田 富一

広島サミットに伴う G 7 栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が、2023 年 6 月 24 日から 2 日間にわたり栃木県日光市において開催され、多くの皆様の御協力により、その関連行事も含め、成功裏に終えることができました。

栃木県誕生から 150 年という節目の年に、本県において初めてとなる政府レベルの国際会議が開催されたことは、大変意義深いものと考えております。

大臣会合の成功に向け、地元日光市など多くの関係者の皆様と連携しながら、推進協議会を立ち上げ、歓迎機運の醸成やとちぎの魅力発信にオール栃木で取り組んで参りましたところ、各国代表団の皆様から本県のホスピタリティに対する高い評価をいただくことができ、開催地としての役割を十分果たせたものと考えております。

大臣会合では、男女共同参画・女性活躍について「コロナ禍の教訓を生かす」及び「女性の経済的自立」をテーマに議論が行われ、その成果文書として取りまとめられた G 7 ジェンダー平等大臣共同声明（日光声明）が、栃木県から世界へと発信されました。

この日光声明は、今後、世界におけるジェンダー平等の実現や女性活躍の推進に大きく寄与するものであり、県といたしましても、男女が共に輝く“とちぎ”の実現に向けて各種施策に反映させて参る考えであります。

また、会合期間中に開催しました協議会主催のエクスカージョンやレセプション等を通じ、代表団の皆様には本県の多彩な魅力を実感いただけたものと思いますので、この経験を生かし、今後一層、インバウンドをはじめとする観光需要の拡大やブランド力の向上に取り組んで参ります。

結びに、大臣会合の開催に当たり、小倉内閣府特命担当大臣（男女共同参画）・女性活躍担当大臣をはじめ、内閣府の皆様への御尽力に敬意を表しますとともに、推進協議会の構成団体など関係者の皆様、そして、様々な形で大臣会合の成功にお力添えをいただきました県民の皆様に対しまして、改めて心より感謝を申し上げます。



**G7 栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合推進協議会
副会長 日光市長**

粉川 昭一

2023年6月24、25日に奥日光を舞台に日本で初めて開催された「男女共同参画・女性活躍担当大臣会合」が市民や関係者の皆様の御尽力と御協力のもと、関連事業も含めて成功裏に終了することができました。

本会合では、「コロナ禍の教訓を生かす」、「女性の経済的自立」について議論され、その成果が「日光声明」として採択されました。当市におきましては、今回の会合を契機に「一人ひとりが輝く男女共同参画のまち日光」の実現を目指し、女性のデジタルワーカー育成や女性のワークバランス推進に向けた事業など、これまで以上に積極的に施策を展開して参ります。

また、会合に伴い実施したエクスカージョンでは、奥日光の自然や優れた歴史・文化等を体感していただいたほか、中宮祠小中学校の児童生徒による歓迎のお出迎えなど、地元との交流を深めることができました。

さらに、レセプションでは、日光市のブランド米「しゃりまんてん」や日光の豊かな自然が生み出した「天然氷のかき氷」など、日光市産の食材を活用した料理や地酒などでおもてなしをさせていただき、日光市の食の魅力を世界に向けてアピールいたしました。

各国の代表団の皆様からは「日光市のホスピタリティは素晴らしい」との声をいただくとともに、小倉内閣府特命担当大臣からは会合終了後に「日光市は国際会議の開催地としてふさわしく、大きなポテンシャルがあることを世界に示すことができた」という主旨の言葉をいただいたことは、日光市にとって大きな自信につながるものと実感しております。

これらを踏まえ、環境と観光が融合した国際観光都市としてのブランド力を高め、コロナ禍からのインバウンド回復に向けた観光誘客に注力して参ります。

結びに、G7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合開催に際しまして、御支援と御協力を賜りました関係機関の皆様、開催地として温かく迎え入れていただきました中宮祠地区をはじめ市民の皆様に対し、改めて深く感謝申し上げます。



内閣府特命担当大臣（男女共同参画）
女性活躍担当大臣

小倉 将信

2023年6月24日から25日にかけて、日本で初めてとなるG7栃木県・日光男女共同参画・女性活躍担当大臣会合（以下「大臣会合」という。）が、栃木県日光市（ザ・リッツ・カールトン日光）において開催されました。大臣会合においては、G7各国及びEUの担当大臣等が、「コロナ禍の教訓を生かす」及び「女性の経済的自立」をテーマに、Women 7（W7）及びジェンダー平等アドバイザリー評議会（GEAC）の代表を交えて議論を行いました。

コロナ禍は世界各地で女性に深刻な影響を与えました。多くの女性が仕事を失い、女性の経済的自立の脆弱性が浮き彫りとなりました。また、女性・女児に対する暴力が激化したほか、教育や医療などの面でも女性・女児に大きな影響をもたらしました。これらはコロナ禍前から存在していた問題が、コロナ禍において増幅・顕在化したものです。

ジェンダー平等の実現に向けた我々の歩みはコロナ禍により大きな後退を強いられました。だからこそ、ポストコロナにおける男女共同参画、女性活躍の取組はコロナ禍の教訓を活かし、構造的課題に対して、正面から取り組むことが必要です。今回、大臣会合において、各国の経験を共有しながら、分野横断的に議論を行い、成果文書として共同声明（「日光声明」）をまとめることができたことは、非常に意義のあることだと考えています。

政府としては、今後、この「日光声明」を最大限に活用しながら、我が国の男女共同参画や女性活躍に関する取組の一層の推進、国際社会に対する我が国の取組の発信に取り組むとともに、国際社会における男女共同参画や女性活躍に関する取組に一層貢献していく所存です。開催自治体の皆様におかれましても、今回の大臣会合を契機として、すべての人が生きがいを感じられ、多様性が尊重される社会の実現に向け、更なる政策や取組を進めていただくことを期待しています。

また、参加国の皆様から、開催自治体のホスピタリティを称賛するお声を多くいただきました。開催自治体の国際観光都市としての大きな可能性を感じ、今後益々の飛躍を祈念いたします。大臣会合の開催に当たりましては、関係者及び地元の皆様に多大なる御支援・御協力を賜りました。今回の大臣会合が、大きな成果を挙げ、無事に閉幕を迎えることができたのも、ひとえに皆様の御尽力の賜物です。改めて感謝申し上げます。